

療育理念	安心できる環境のもと、心地よい人との関わりや楽しい経験を通して生きる楽しさや自信を身につけるよう保護者や地域の方と共に考え育ち合う。				支援方針	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活リズムを整えながら、発達の基礎となる健康な身体をつくる。 好きな遊びを通して、身体を動かすこと、物と関わることが楽しいことを知る。 安心できる大人や友達との十分なスキンシップを通して関係を広げ、人と関わることが楽しいことを知る。 豊かな感性を持ち、安心して自分の思いを伝えようとする気持ちを育てる。 様々な体験、出来事に触れて、感じたこと考えたことを色々な方法で表現する。 											
子ども像	<p>生きる力を十分発揮できる子ども</p> <ul style="list-style-type: none"> 丈夫な身体をもつ子ども 遊び込める子ども 人と関わることが好きな子ども 要求を豊かに持ち、人に伝えられる子ども 豊かな感性を持ち、表現できる子ども 				療育時間など	<ul style="list-style-type: none"> 営業時間 8：30～17：00 サービス提供時間 9：00～16：00 療育時間 10：00～15：00 送迎の有無 有（送迎バス） 											
健康支援	環境・衛生管理・安全管理	食育の推進	災害への備え	職員の質の向上	家庭支援		地域支援										
<ul style="list-style-type: none"> 健康診断（内科年2回） 身体計測・尿検査 心身状態や家庭生活等の把握 保健指導（手洗い、歯磨き） 異常が認められた時の適切な対応 地域、園内の感染情報の提供 	<ul style="list-style-type: none"> 施設内外の設備、用具等の清掃及び消毒 子ども及び職員の手洗いの徹底 救急講習（AED含む） 遊具点検（週1回） 業者による園舎清掃（年2回） 防犯カメラ設置 	<ul style="list-style-type: none"> 食育活動の実施 クッキングの実施 野菜の栽培 アレルギー対応 	<ul style="list-style-type: none"> 毎月の避難訓練（地震、火災、不審者など） 消防設備点検 危機管理マニュアル 備蓄品の備え（園・家庭から持参） バス運行コース経路上の避難所マップ作成 	<ul style="list-style-type: none"> 障害児支援・子育て支援に関する研修会への参加 事例検討会の実施 障害児等療育支援事業巡回相談 身体拘束等の適正化のための研修及び虐待防止のための研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 連絡帳を通して、学園の様子や家庭の様子を知らせ合う。 家庭訪問を行い、家庭での様子を知る。 個別相談（5月、10月） 研修の機会を提供（訪問療育） 個別遊びを利用して、子どもの発達や対応方法等の相談に応じていく。 チェックリストやすこやかカード等を通して、保護者の支援を行っている。 療育参観、まご遊ぼうデー 定例保護者会での情報共有 OB懇談会 	<ul style="list-style-type: none"> つつし荘との交流 牛川東保育園との交流 豊橋まつり 伸びゆく子どもの作品展 市主催行事への参加 	<p>関係機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> こども発達センター（療育支援事業：巡回相談） 専門スタッフとの情報交換・研修会 児の主治医、リハビリスタッフとの連携や調整（医療の方向性を療育に生かしていく） 自立支援協議会（子ども専門部会・療育関係者会議）・特別支援委員会・特別支援連携協議会・特別支援教育研究協議会への参加 入園前の状況について関係者・関係機関と情報共有 卒園先との情報共有 要支援家庭ケース等、関係機関（東三河児童・障害者相談センター / こども保健課 ことまろ支援センター（ココエール） / こども発達センターなどと緊密な情報共有 虐待が疑われる場合には、速やかに通告していく。 										
養護	生命の保持		〇一人一人の子どもが健康で安全に過ごせるようにする。			期のねらい		Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期						
	情緒の安定		〇一人一人の子どもが自分の気持ちを安心して表わすことができるようにし、自分を肯定する気持ちが育まれていくようにする。					新しい環境に慣れる	丈夫な体をつくる	身体をしっかりと使って遊ぶ	友達との遊びややりとりを楽しむ						
ねらい及び内容																	
<p>発達支援</p> <p>健康・生活</p> <p>運動・感覚</p> <p>認知・行動</p> <p>言語・コミュニケーション</p> <p>人間関係・社会性</p>	基本的生活習慣				音楽遊び				主な行事		児童発達支援センターの役割						
	食事	ねらい	〇食事に慣れ、楽しく食べる。 〇食事に必要な基本的生活習慣（着替え、清潔等）を身につける。			ねらい	〇音楽や人と楽しく触れ合う中で、個々の身体的・感覚的・知的な能力の芽生えや調和を図る。 〇音楽に親しみ、さまざまな経験を通して豊かな感性を育てる。			【4月】 ・入園式 ・新入園児親子通園		①幅広い高度な専門性に基づく発達支援・家族支援機能 ・地域の児童発達支援センターや事業所との連携 ・ペアレントプログラム・ペアレントトレーニング ・発達に関する一般相談、運動発達相談等					
		内容	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが自分で食事をしようとする気持ちをもつ。 生活のリズムを整え定期的に食事をする。 いろいろな食品や味に慣れ、バランスよく食事を摂る。 			内容	<ul style="list-style-type: none"> 遊びを通して人の動きを模倣することにより、社会性や対人関係の芽生えを促す。 手遊び・ふれあい遊び・リトミック・歌あそび・楽器あそび・音楽鑑賞 										
	排泄	ねらい	〇安心できる保育士との関係のもとで、排泄習慣を身につける。			運動あそび				【5月】 ・親子遠足		②地域の障害児支援事業所に対するスーパーバイズ・コンサルテーション機能 ・事業所交流会 ・事業所向けの研修・事例検討会等					
		内容	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の子どもの排泄間隔を知り、排泄に誘う。 排泄できた時は着替えることを繰り返し、排泄に慣れるようにする。 自分から、言葉かけによりトイレに行き、保育士が見守る中で排泄する。 			ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 〇基本的な動きを身につけ、色々な運動器具や用具を使用し身体を動かすことを楽しむ。 〇姿勢と運動・動作の基本的技能の向上を図る。 〇遊びを通して保有する感覚を十分に活用できるように支援する。 							内容	<ul style="list-style-type: none"> 安心できる環境のもとで、自分から体を動かすことを楽しむ。 様々な運動器具や用具を使い、身体を動かして遊ぶことを楽しむ。 		
	着脱	ねらい	〇安心できる保育士と環境のもとで、着脱しようとする。			感覚遊び				【6月】 ・療育参観・夏のお楽しみ会 ・プール開き 【7月】 ・七夕会 【9月】 ・親子夏遊び会 ・まご遊ぼうデー① 【10月】 ・運動会 【11月】 ・親子遠足 ・焼き芋会 ・まご遊ぼうデー② 【12月】 ・クリスマス療育参観		③地域のインクルージョン推進の中核機能 ・地域の小学校・保育園・こども園との連携 ・実習生、職場体験受け入れ ・市内保育園・こども園職員の研修受け入れ ・市内小学校中堅教諭の研修受け入れ ・豊橋市民病院医師の研修受け入れ					
		内容	<p>【全面介助】</p> <ul style="list-style-type: none"> 保育士が側に付き、目で服を見せながら衣服に意識が向くようにする。 落ち着いた雰囲気の中で、分かりやすい言葉かけをしながら協力動作を促していく。 			ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 〇遊びを通して五感：視覚、聴覚、嗅覚、味覚、触覚に働きかけることで心身の発達を育てる。 〇感覚や認知の特性を踏まえ、遊びを通じ感覚の偏りに対する受け入れの幅を広げる。 〇保有する感覚を十分に活用できるように支援する。 〇興味や関心を持つことにより好奇心・集中力・感受性などを高める。 							内容	<ul style="list-style-type: none"> 安心できる環境のもとで、主体的に遊びを楽しむ。 遊びを通じ意欲、関心を持って主体的に関わる中で、受け入れられる感覚を広げる。 		
			<p>【自立】</p> <ul style="list-style-type: none"> ひとりでできた満足感が味わえる様にする。 間違った時は、その都度丁寧に知らせていく。 			造形遊び											
	睡眠	ねらい	〇一人一人の子どもの心身の疲れが癒されるようにする。			ねらい	〇認知の発達と運動・操作の習得や機能の発達を促す。 〇想像力や創造性を育てる。			【2月】 ・豆まき会 【3月】 ・ひな祭り会 ・お別れ遠足 ・卒園式		④地域の発達支援に関する入口としての相談機能 ・相談支援事業 ・子育て支援センターにて相談支援（R7～） ・基幹相談支援センターや障害児相談支援事業所等との連携・協働					
		内容	一人一人の子どもの生活リズムや心身の状態に応じて、適切な休息が取れるようにする。			内容	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな素材、用具を使うことを楽しんだり、用具の使い方を知る。 数量、形、大きさ、色、色の変化等を楽しむ。 										
	清潔	ねらい	〇清潔に必要な習慣や態度を身につける。			クッキング遊び				その他：誕生会、園外療育など							
		内容	<ul style="list-style-type: none"> きれいになることの心地良さを知らせ、自分で清潔にする気持ちを育てる。 手洗いうがいの仕方を知る。 			ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 〇五感を育てる。 〇身近な食べ物に興味を持つ。 										
	散歩・山登り					内容	保育士や友だちと一緒に調理することを楽しむ。										
	ねらい	〇情緒の安定と気持ちの解放を図る。 〇持続力を高め、自己統制の力を養う。 〇好奇心、社会性、協調性、達成感、満足感等認知の発達とバランス感覚や脚力、柔軟な身体の動きなど運動機能の発達を促す。				クラス交流											
内容		<ul style="list-style-type: none"> 五感を働かせ、自然物に触れて遊ぶことを楽しむ。（木漏れ日、風や落ち葉の音、給食室からのにおい、小鳥の声、落ち葉や木の葉を拾う等） 保育士や友だちと一緒に歩くことを楽しむ。 山に入る経験をする。 			ねらい	〇クラス交流を通して周りへの関心を広げ、他クラスの友達や先生と一緒に遊んだり、散歩や山に行くことを楽しむ。			内容	<ul style="list-style-type: none"> 交流を通して興味や関心を広げる。（室内交流・散歩交流・山登り・同じ発達段階の児との交流 等） 							
プール遊び					地域交流				移行支援：保育園および特別支援学校・小学校との連携・接続								
ねらい	〇プール遊びを通して水に親しみ解放感を味わう。 〇バランス感覚を養い身体能力を高める。				ねらい	〇園内では体験・経験できないことを機会を設け、社会生活への興味や社会性を養う。 〇同年齢の子と触れ合うなかで集団生活の経験や遊びの幅を広げる。			<ul style="list-style-type: none"> 児と保護者が小学校生活に安心と期待感が感じられるよう学校との連携を図る。 就園先や就学先への情報提供・就園、就学後のアフターフォロー 卒園後も子どもにとってよりよい支援が受けられるようにする。（連絡票送付 / アフターケア訪問 / ケース会議出席 など） 相互の職員間の緊密な情報交換 高山学園見学研修（あゆみ学園主催：市内保育士向け） 								
内容	<ul style="list-style-type: none"> 水慣れをする。 水の抵抗を体感する。 水中歩行をする。 プール遊びを楽しむ。 身体を支えてもらいながら脱力し、水に浮くという感覚を知る。 				内容	<ul style="list-style-type: none"> つつし荘の行事に参加する。（芋ほり招待 等） 牛川東保育園園児との交流を楽しむ。（戸外あそび・室内あそび・給食等） 											